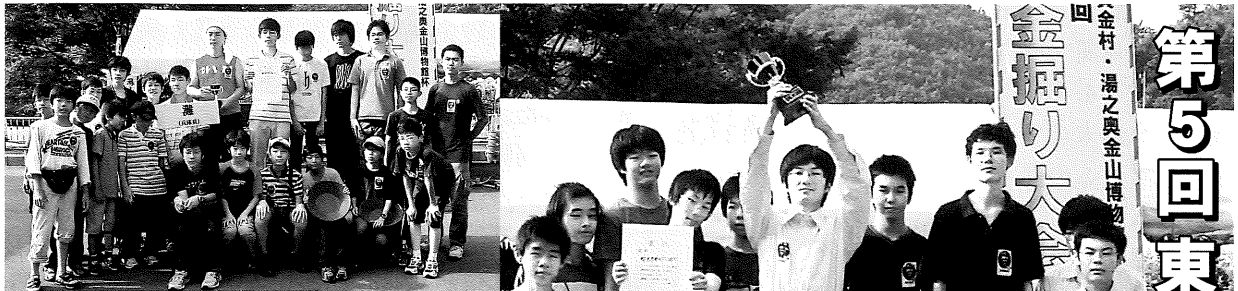


博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



第5回 東西中高交流砂金掘り大会



開成学園
(東京都)

2度目の優勝・開成学園



みんな未来に輝いている!!



第8回 砂金掘り大会



第8回 こども金山探険隊

今年の夏も館は賑わいました

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷 口 一 夫

毎年9月の館だよりは、夏のイベント特集になりますが、今年の夏も館は賑わいました。その様子をお伝えします。

21万人目の来館者を迎えました

8月の月間・有料入館者数は歴代2番目、昨年度に次ぐ4,470名を記録しました。また今年度4～8月末までの有料入館者数は13,012人と順調です。この間（8月9日）には、開館以来の有料入館者21万人目のお客様をお迎えすることができました。

その他、入館者数には累計されませんが7～8月の各種イベント参加者も多数を数えています。

日常の館活動と並行してイベント開催

夏の大きなイベントは、日常的な館活動（開館業務）に並行して行われますが、館行事として定着しました「こども金山探険隊」と「砂金掘り大会」（一般大会と学校交流大会）の2大イベントがあります。

探険隊には毎年広く県外から参加されますが、今年も徳島県から家族4人での参加者があったのをはじめ、各地から20名の隊員をお迎えしました。

実施に当たっては、標高1,600メートルの毛無山の中腹まで登りますので、往復の安全を図るため、昭和三岳会の皆様の応援を毎年頂いています。加えて職場研修に入っていた県立峡南高校の先生・生徒、学芸員実習に入っていた身延山大学の学生の実習体験、町の教育委員会職員、観光課職員の協力、そして博物館職員ら延べ20名が探険隊プログラムに対応いたしました。

このように多くの皆様の協力を頂きながら、事業は進められましたが、今年は最年少5歳の女の子・男の子も参加、親に付き添われながらも最後まで自力で歩き、翌日の日程も消化、自分で作った甲州金や巻物（修了証）を手にして大喜びでした。

浜頓別町からも視察にきました

第8回目を数えた「砂金掘り大会」、第5回「東西中高交流砂金掘り大会」も定着いたしました。砂金採掘地で有名な北海道の浜頓別町からも、広瀬忠雄町長の代行で役場関係者（産業振興課長・商工観光係長）、観光協会会長、ウソタン砂金共和国大統領の4氏が来訪（8月1日～2日）、この砂金掘り大会の視察に参りました。

同町では、日本砂金掘り大会や、2002年には世界砂金掘り協会（WG A）主催の世界大会を誘致開催しています。この世界大会で当館の小松美鈴学芸員が女子初心者の部で金メダルを獲得しましたが、日本では未だにこの記録は破られていません。この様な関係もあり、浜頓別関係者は、将来的には身延町で、日本大会や可能であれば世界大会の誘致をして欲しいという期待感を持っているようです。

8月1日に金山博物館において、野中副町長、笠井教育長、佐野生涯学習課長、依田政策室長、赤坂観光課長、桐戸リーダー、渡辺リーダー、小松学芸員、館長らに対応、歓迎を兼ねた情報交換をいたしました。

東西中高交流砂金掘り大会・開成が優勝

ところで第8回砂金掘り大会、第5回「東西中高交流砂金掘り大会」とも、運営に当っては、大勢の皆様のご協力を頂きました。探険隊でご奉仕いただいた皆様に加え、平素からの友の会（砂金掘り友の会）の皆様のご全面協力をいただきました。

2つの砂金掘り大会の成績表は別掲にありますが、後者の第5回大会優勝校は、2度目の東京開成中・高等学校でした。同校理科学部長小林朝瑛君のリードで校歌が高らかに斉唱されました。準優勝は山梨学院大学付属中・高等学校。過去優勝校は、第1回灘、第2回駿台甲府、第3回開成、第4回灘という結果が残されています。

生徒間の交流や貴重な学習をしました

砂金掘り大会を通じ各校の生徒間の交流を深める時間帯を設けました。さらに翌日には国指定史跡・中山金山の現地へ赴き、金山遺跡の臨地研究をする学校も2校を数え、生徒にとっても博物館と金山の現場は、貴重な戦国時代金山遺跡（史）学習の場になっています。

彼らは身延町や博物館にとっての 未来につながります

彼らには湯之奥金山と下部温泉の思い出を沢山つくっていただきたいと思っています。かつて平成元年からの中山金山の総合調査に参加した東京大学の学生が、私の第2の故郷は湯之奥金山です、といって館にやってきました、他の研究集会などでそういう会話を交わしているのを聞きますと嬉しくなります。

下部温泉郷にとっても、このイベントに参加

する県外生徒は、必ず下部温泉郷へ宿泊しているという事実です。これは町をあげて大事に育てるべきでしょう。

地域再生には、小さなことの積み上げを

いま下部温泉郷の再生を目指した「下部温泉郷魅力づくり協議会」が、県の支援を受けスタートしました。これは地域あげて大きなきっかけにすべきだと思います。

活性化は、特効薬がある訳でなく当事者の日常的な小さな活動の積み上げこそが、その源になると思います。また取り組みについては、色々な選択肢があると思います。「金山と温泉+博物館」という切り口も、幾つかの選択肢の一つとして考えられることでしょう。

これからも博物館は、生涯学習の拠点として、また地域活性化の拠点と位置づけた活動を積極的に展開して参ります。深いご理解とご協力をいただければ幸いです。



写真は砂金掘り大会2日目。中山金山遺跡の臨地研究に、挑んだ開成学園、立教新座の生徒（先生含め約40名）に挽き臼を示しながら解説する小松美鈴学芸員。

活動報告

下部温泉魅力づくり協議会 — 谷口館長と渡辺リーダーが参画 —

7月29日(火)

本町では山梨県と協働して、地域自らが魅力づくりを進め、観光客の来訪や滞在を促すことなど、下部温泉郷を再生するための方針を検討するため「下部温泉魅力づくり協議会」を設置しました。

この協議会は、観光客数が落ち込むなど低迷している県内観光地の再生支援事業として、山

梨県が昇仙峡と下部温泉郷の2箇所を対象に、専門アドバイザーを派遣して地元が主体となって観光客を呼び戻す事業を展開するために、観光客の減少の原因、課題、観光資源を掘り下げて分析し、観光客の減少に歯止めをかける効果的なプロジェクトを実施していくものです。

インターンシップ・学芸員研修

8月中

今年の夏は10人のインターンシップ研修生等が、博物館で研修しました。

インターンシップ第1陣は、峡南高校から男子生徒4人(三善大歩君、依田智也君、岩松純也君、佐野翔平君)、女子生徒1人(木内砂智さん)の5人が7月30日～8月3日までの5日間。第2陣は、同じく峡南高校の先生が2人(磯野喜志先生、渡辺三幸先生)7月31日～8月2日までの3日間。また、時期を同じくして、学芸員実習生として身延山大学より山形夏子さんが研修しました。山形さんは、夏の2大イベントを中心とした8日間の実習期間となり、実習初日から子ども金山探険隊の毛無山登山にも随行し「金山を学ぶには現地を見る」という貴重な実体験をしてもらいました。また、インターンシップ研修生のうち男子学生2人(三善君、佐野君)も8月3日の学生登山に随行し、中山金山遺跡現地を見学しました。

8月2日(土)の砂金掘り大会では、裏方の業務と本大会にも参加し競技の楽しみも知ってもらいました。「難しかったけど、楽しかった」という嬉しい感想をもらいました。

研修期間中は、事業開催までの準備や開催日当日の裏方を務めながらの接客と博物館運営の様々な業務をこなしました。

また、8月下旬には山梨県立大学の高井あゆみさんと、山梨学院大学の渡辺祐樹君の2人が、2日間のインターンシップ研修を経験しました。

前半に研修となったグループと異なり、後半の2人には接客業務中心に職場体験をしていただきました。受付の対応の仕方や体験指導など、お客様の視点に立った接客を心がけながら、前向きに取り組んでももらいました。

このような博物館での経験が、今後様々な場面に活かされていければ嬉しい限りです。

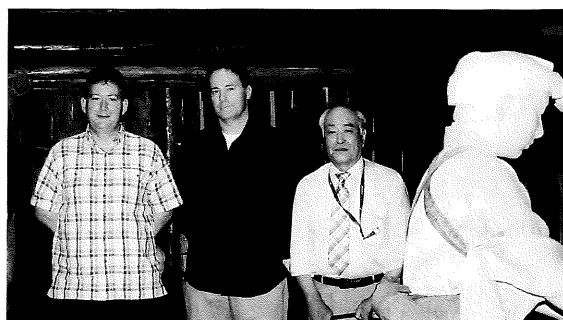
東京科博「GOLD展」出展の外国博物館長が来館

7月16日(水)

現在、東京上野の東京国立科学博物館で開催されている「GOLD展」のオープングレセプションが、去る7月11日行われましたが、当館も招待をいただき谷口館長と小松学芸員が出席いたしました。今回、セレモニー挨拶に来日したバララット博物館のティム・サリバン館長と、ビクトリア黄金博物館のデーモット・ヘンリーコレクションマネージャーは国立科学博物館の宮脇博士の案内で来県し、当館を訪ねていただきました。両氏は「物が並べてあるだけでなく、しっかり歴史が展示してあること、映像シアターやジオラマ展示室も素晴らしいと絶賛、私共の博物館もこうでありたい、大変勉強

になりました。」と述べられ館を後にされました。

なお、この展示会は巡回展として来年、山梨県立博物館にて開催されます。その際には甲斐金山・湯之奥金山のブースも設けられる予定です。



北海道浜頓別町から砂金掘り大会視察のため来町

8月1日(金)



8月1日、北海道浜頓別町から「砂金」による町づくりについての視察研修団一行が来町されました。

今年の湯之奥金山博物館杯・第8回砂金掘り大会の視察に併せて、遠く北海道浜頓別町から、長森観光協会長、池田ウソタン砂金共和国大統領、浜頓別町役場の菅原産業振興課長、小山西内商工観光係長の4名が来訪されました。

今回の視察団は、過去において浜頓別町で、第1回砂金掘り大会(平成4年)を開催した後、第5回全日本砂金掘り大会(平成13年)、

世界砂金掘り大会(平成14年)と「砂金」による町づくりを行っています。今回は、諸大会の開催までの裏話や成功した内容の説明を受ける中で、本町での「砂金」による町づくりについて意見交換し、将来的には、本町で「全日本大会」「世界大会」が招致出来るかなど、資料や写真を見ながら話し合いました。

浜頓別町では、町を挙げて「砂金」による町づくりの取り組みがうかがえ、本町としても当館で回数を重ねている「砂金掘り大会」が将来的に発展していけるように取り組んでいく必要があると感じました。

翌日の砂金掘り大会では、4名の視察団がベテラン部門に出場してくださり、大会を盛り上げてくれました。

非常に短い日程で慌ただしい滞在でしたが、大変貴重な内容の話しを聞くことができ、今後も交流が深められるように努めていきたいと思えます。

有料入館者21万人目達成！ 今年の8月も入館者数4,000人を突破

今年の夏も大勢の方に来館していただきました。8月は、毎年県内外から大勢の方がこの身延町に訪れてくれます。当館では、今年度も休館日を返上し、無休開館の体勢をとりました。

山梨県内は、昨年度は「風林火山」ブームに沸き、今年度は「デスティネーションキャンペーン」と、県を挙げての大型観光キャンペーンを行っています。この峡南地域では特に目立った動きはない状況ですが、当館は8月の目標としていた入館者数4,000人を大幅に超え、4,470人の来館者がありました。

また、8月9日(土)には、朝一番に有料入館者21万人目となる来館者をお迎えすることも出来ました。記念入館者となられたのは、静岡市清水区の藤田協右様ご夫婦です。

お二人は昨年下部温泉郷を訪れてくれたそうですが、昨年は時間の都合が合わず、博物館には立ち寄ることが出来なかったのだそうです。そこで、今年は温泉とあわせて博物館にも立ち寄る計画で訪れたところ、今回の記念入館者となったということです。藤田さんは、以前にも羽田空港から北海道の紋別空港への定期便1番機に搭乗された

という経験の持ち主で、この度の思わぬ2度目の記念体験を大変幸運に感じられたようでした。谷口館長が展示室を案内される際にも、お二人は大変興味深く館内を観覧されました。

多くの方々が訪れてくださることに感謝しながら、これからもスタッフ一同、いつでもお気軽に、また、いつでもご満足いただける「愛される施設づくり、博物館づくり」を目指して参ります。

さて、この21万人目をお迎えした8月9日には、YBSテレビで夕方5時から毎週放送されている「とちちゃん家の5時」で、ちょうど世間が北京オリンピックに沸く中、「金」つながりで、金山博物館から生中継が放送されました。放送後には、「見ましたよ」「テレビで見たので砂金採りがしたくなつてやってきました」などいろいろな感想を持っておいでくださるお客様が多く、そんないくつかのニュースがあった大変にぎやかやなひと夏となりました。



今年もみのぶの夏は熱かった！ 博物館、夏の2大まつり！！

第8回こども金山探険隊

第8回目を迎える「こども金山探険隊」が、天候にも恵まれた中、無事に終わりました。探険隊員は、地元山梨はもちろん、東京、神奈川、千葉、愛知など、遠くは徳島県からも参加があり19人と盛況で、保護者含めて参加者は40人という賑やかな探険隊となりました。

今年の登山は、国指定史跡「中山金山遺跡」で、今年も山梨県山岳連盟と博物館友の会から現地ボランティアとして、4名の同行があり参加者の登山中の安全対策に努めました。

ところで、今年の探険隊の隊員はとて元気が良かったのが特徴で、山に登る時もまったく疲れを感じさせず、登山道を走り出しそうなくらいの元気良さでした。登山コースも上級者向きに指定されているだけあって、中山金山遺跡への道は楽ではなく、特に保護者の皆さんは大変だったようです。

遺跡現場では、金山に関する簡単なクイズを交え金山の歴史を勉強しながら、文化財についての話や、ゴミのポイ捨てなどについても触れました。隊員も保護者もみんな真剣に聞き入り、下山の際にも「あ、ゴミ！」と言っては、それらを拾い集めながら下山しました。

町の生涯学習課文化財担当（当日のスタッフ）が持参したゴミ袋が、あっという間にいっぱいになりましたが、参加した保護者の皆さんからもそれぞれに「持って行きます」と声をかけていただき、ゴミの持ち帰りに協力していただきました。皆さんのおかげで登山道はずいぶん綺麗になりました。見学会を通じて、隊員の子供たちに、また保護者の皆さんにも自然を慈しむ心が養われればこんなに嬉しいことはありません。

下山に多少時間がかかりましたが、全員が無事に帰館した後は、屋外展示場で粉成作業と汰り分け作業を行いました。臼を自ら回転させて石を砕いていく、鉋石が粉になっていく様子が歓声が上がります。また汰り分け作業では、金が残っていないか目をこらして真剣に確認していました。

作業終了後に開催したバーベキュー懇親会には大勢ご参加いただいたので、各ご家族に感想などを発表していただきました。参加した保護者の皆さんに共通して言えることは、登山が大

変だったということでしたが、同時にとても楽しく良い経験になったというのも共通の意見でした。子供たちも皆が「登山とか大変だったけどとても楽しかったです。また来年も来たいです。」と感想を述べてくれました。バーベキューの締めとして小さな花火大会をしてから、1日目のプログラムを終えました。



2日目は午前中を使って灰吹き、甲州金作りです。手元に金があるというだけで、わくわくしてしまうこの作業ですが、とても楽しそうに作業をしていました。刻印打ちの作業は、毎年の事ながら皆難儀していたようですが、それぞれ上手に出来上がっていました。完成した甲州金をオリジナルケースに入れて作業終了です。

修了式では、谷口館長よりこども金山衆の免許皆伝の巻物が手渡され、参加者全員で記念撮影をしました。今年の夏の自由研究はこれで完璧だったと思います。

関係者、ボランティアスタッフ、友の会会員の多くの皆さんのご協力をいただいて無事に終わることが出来た探険隊でした。この事業を通して、参加者の皆さんからのアンケートからも感謝の言葉と、「また身延町に訪れたいです。」という意見も多くいただきました。館にとって実りある一事業となりました。



第8回砂金掘り大会

8回目を迎えた砂金掘り大会では、遠方から京都府、滋賀県、山口県、そして視察の為に来町された北海道浜頓町関係者らと、参加者総数166人が集まり、過去最高の盛り上がりとなりました。

今大会から、各部門とも世界大会のルール変更に伴い、制限時間は15分から10分に、ペナルティタイムは5分から3分に変更となりましたが、デモプレイで競技の仕方を実践したのち、ジュニア部門から競技を開始しました。ジュニア部門は県内外から集まった小中学生総勢75人です。小学1年生や2年生もお兄ちゃん、お姉ちゃんたちに混ざって出場しながら、全部で4試合行いました。

タイムキーパーは、ベテラン勢の皆さん。手を出すことは出来ませんが、言葉でのアドバイスはOK。アドバイスのおかげでよい結果になった子もいたようでした。

次の男女初心者部門では総勢60人が参加し、3試合行いましたが、高校生以上の男女が対象で、ぐっと年齢層が広がり、また砂金採り体験もばっちり、という方が多いので力強いパニ

ングが見られました。

一般大会ラストを飾るベテラン部門は、数年前までエントリー数が10人に満たなかったのですが、今年はエントリー総勢30人。ここでも力強いパニングが見られました。視察で来町した北海道勢は砂金掘り伝統道具「汰り板」を使っ

ての挑戦でした。その砂金掘りスタイルも大変サマになっており、会場の雰囲気さをさらに盛り上げてくれました。
表彰式ではジュニアからベテランまで、上位3人に表彰台に登壇していただき、館長から賞状とメダルを手渡された後、入賞者一人ひとりにコメントをいただきました。「砂金掘りサイコー!!」、「入賞できるなんて夢のようです。」と素直な感想を述べてくれました。男女初心者部門では「入賞したらベテラン部門ということなので、来年はもっと鍛えてベテラン部門で頑張ります」と来年の抱負を述べてくれたり、ベテラン部門では、昨年男女初心者部門で入賞した女性が、今年はベテラン部門で1位、そして総合優勝という結果を出したりと、バラエティー豊かな結果となりました。

ジュニアの部 (7粒)											
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	坂口太郎	7	7.4398	19	光山京太	4	3.3522	37	大野正輝	4	7.3593
2	長田翔太	6	5.1848	20	諏訪敬之	4	3.3546	38	田野口拓弥	4	8.0986
3	山縣諒介	6	5.4692	21	今野雅史	6	9.4246	39	斉藤敦	3	5.1723
4	美馬領太	6	5.5739	22	末原直幸	5	6.4506	40	中村暖	3	5.2043
5	桐山幸大	7	9.4038	23	岩崎翔太	5	7.0148	41	木村将之	4	8.3999
6	土屋祐貴	5	3.4994	24	金敬虎	4	4.1572	42	佐藤有一郎	3	5.4191
7	堀越瞬	6	7.072	25	笠浦一海	5	7.1623	43	志村明日貴	3	5.5426
8	吉富秀平	6	7.1054	26	前澤祐弥	5	7.199	44	伊藤岳斗	3	6.2351
9	湯澤魁	6	7.165	27	吉田一真	3	1.3784	45	内田南斗	2	4.4872
10	森川亮介	6	7.2323	28	久原雅史	4	5.034	46	平尾達郎	2	4.5127
11	古島伸	5	4.3626	29	平塚一輝	4	5.0811	47	山口望	2	4.5476
12	三島孝太郎	6	8.0679	30	保坂哲宏	5	8.3122	48	狭原隼	3	7.5832
13	小林薫	6	8.1326	31	桑形和樹	4	5.344	49	石井彰吾	2	5.0189
14	斉藤滉	5	5.2456	32	松原太一	5	8.503	50	廣瀬龍太郎	2	5.433
15	川上拓朗	6	8.528	33	伊藤いつき	5	8.567	51	飯島隆一	2	5.4903
16	六波羅誠司	6	8.5345	34	名取俊一	4	6.4826	52	安藤大悟	3	3.1401
17	松田朋子	6	9.1017	35	依田遠真	3	3.5198	53	武藤航輝	3	9.145
18	伊藤誠朗	6	9.2135	36	吉村翼	4	7.0059	54	回木祐登	1	3.3512
55	佐藤皓一	1	3.5985	56	松原架奈	2	7.5758	57	沓川彩乃	2	8.0021
58	藤森大空	2	8.4741	59	杉本径	2	9.2299	60	川手遼一	1	6.328
61	神宮司壮朗	1	7.1242	62	中川貴広	1	8.269	63	小林朝瑛	1	8.3658
64	岡田友寛	1	9.111	65	名取拓馬	1	9.4094	66	塩見真由	1	9.4268
67	伊藤はるな	1	9.4574	68	金丸博樹	1	9.5505	69	前田智紀	1	9.5801
70	武藤遼	0	8.3603	71	堀内公雅	0	8.5958	72	菅峰久	5	Time Over

初心者の部 (7粒)											
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	中代浩之	7	7.015	16	内川章	4	8.0753	31	久保孝太	3	9.342
2	石田政明	6	7.5314	17	柴田幸弘	4	8.1308	32	関根成駿	3	9.4734
3	松田智	6	8.3569	18	一瀬けい子	4	6.018.40692	33	宮前健太郎	3	9.5495
4	阪上拓	6	8.4667	19	樋口しおり	3	6.012	34	渡部智博	3	9.5743
5	成島秀樹	6	8.5071	20	内田唯	4	9.1283	35	川口拓郎	3	9.5889
6	松原知世子	6	8.694	21	武藤きよ江	4	9.2073	36	川田敏文	0	1.0972
7	伊藤正樹	6	9.1939	22	宮本一弘	2	3.3506	37	清水貴弘	2	7.3467
8	池田昌久	4	9.2943	23	寺嶋浩二	2	3.3918	38	井上泰輔	2	8.3626
9	原口英樹	4	3.406	24	若林海仁	4	9.4392	39	安積聖夫	2	8.3634
10	原口勝成	5	7.0336	25	神宮司弘美	4	9.542	40	清水正実	2	9.0392
11	渡辺清人	5	8.3211	26	武藤明雄	4	9.5642	41	神宮司孝之	2	9.1858
12	渡辺正樹	5	8.3478	27	川田留子	2	4.5926	42	岩田峻弥	2	9.4831
13	松原光由	5	8.546	28	小沢尊史	3	9.039	43	米山兼治	2	9.5013
14	森岡幸三郎	5	9.1977	29	木村睦	3	9.0412	44	砂永和哉	2	9.5054
15	加賀美理沙	5	9.5279	30	渡邊凌	3	9.3012	45	中尾一石	2	10
46	香川修兵	1	8.2137	47	樋口智哉	1	9.5618	48	金子未佳	1	9.5846
49	新田真也	0	9.4939	50	金澤峻	0	9.5	51	山崎大	0	9.5778
52	黒田敦夫	2	8.3626	53	中山駿一	0	Time Over	54	森澤賢斗	0	Time Over
55	宇田川裕貴	0	Time Over	56	中川隼	0	Time Over	57	島崎勇太郎	2	Time Over

男女ベテランの部 (6粒)											
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	柴田明美	6	5.0656	10	池田邦雄	3	4.4775	19	佐藤弘子	3	6.3525
2	天野直人	5	4.3717	11	小林彰	3	5.0074	20	井村智子	2	3.3582
3	岡本英一郎	6	8.3639	12	一瀬仁	4	8.2264	21	長森公司郎	2	4.1254
4	近藤直美	5	6.1176	13	菅原信男	3	5.291	22	川原敏夫	3	7.251
5	磯野喜志	5	8.3506	14	木内砂智	4	8.5942	23	原口静香	2	5.2438
6	寺澤保夫	4	6.4028	15	山形夏子	4	8.5953	24	森下哲彦	2	5.2611
7	原澤英美	3	3.4056	16	大森直彦	2	3.0419	25	野村敏郎	2	2.2942
8	木村伸	3	4.0102	17	高田克彦	3	6.0978	26	岩松也	2	5.382
9	小山内巧	3	4.262	18	中川清	2	3.3117	27	保坂信一	1	2.4078
28	渡辺三幸	2	5.4671	29	本間純	3	8.5554	30	牛島敏博	1	3.0464
31	柴田龍弘	2	6.18	32	三善大歩	2	7.1854	33	林謙治	2	8.5066
34	依田翔平	0	8.5771	35	佐野平	0	8.5771	36	板山武久	0	9.5675

“砂金掘り甲子園!” 第5回東西中高交流砂金掘り大会

一般大会終了後、同日午後2時から「東西中高交流砂金掘り大会」が開催されました。

今年の出場校は昨年度優勝校・灘（兵庫）、灘と同じく連続出場の開成学園（東京）、地元山梨学院大付属、駿台甲府、そして昨年から出場の立教新座（埼玉）の全5校です。この大会は、団体戦、個人戦と2部門・各5人ずつの選手で競技がなされます。

団体戦の結果は、ダントツで開成がトップでした。ここで優勝圏外となるチームが判明しますが、入賞は可能です。いろんな可能性を含んで個人戦へ突入しましたが、個人戦は先鋒から大将まで8分間一本勝負を5回行います。一般大会同様、砂金混入数が確定されている個人戦は、選手達の個人技に重点がおかれます。

大波乱の個人戦を制したのは、5戦中3戦を1位で突破したベテラン揃いの灘でした。後を追うのが山梨学院と駿台で同点2位。そして続く開成、健闘した立教と続きました。全体を通して過去、優勝経験のある灘、開成、駿台、そして出場を重ねている山梨学院は慣れたもの。2年目といえども代替わりのため、初参加者のみでのチーム編成を余儀なくされた立教にとっては苦しい状況の中での交流戦となりましたが、選手たちのバニングの腕は年々確実にあがってきています。

応援で面白かったのは砂金が出るたびに大歓声を上げる開成。これは他校にプレッシャーを与えるのに有効だったと見受けられ、また的確なアドバイスを送り合うなどチームワークが非常に良かったようでした。

団体戦獲得点数、個人戦得点数とボーナスポイント

団体戦	1	2	3	4	5	採取金粒合計	総合成績(分秒)	獲得点	BP(0.5P)	合計得点
灘	石井彰吾 ③	末原直幸 ①	吉富秀平 ⑤	坂口太郎 ④	森川涼介 ①	13粒 28.17.82	13粒/3位 49.17.82	15点	0.5点	15.5点
開成学園	齋藤敦 ②	今野雅史 ③	笠浦一海 ⑤	三島孝太郎 ③	堀越瞬 ③	16粒 25.08.50	16粒/1位 37.08.50	30点	2点	32点
駿台甲府	堀内公雅 ①	堀見真由 ①	沓川彩乃 ②	中川貴広 ②	田野口拓弥 ①	6粒 29.05.31	6粒/4位 71.05.31	10点	0点	10点
山梨学院	土屋祐貴 ②	依田遼真 ②	長田翔太 ②	古屋伸 ④	久原雅史 ④	14粒 25.57.06	14粒/2位 43.57.06	20点	2点	22点
立教新座	黒田敦夫 ①	樋口智哉 ②	中尾一石 ①	森澤賢斗 ①	宇田川裕貴 ①	6粒 29.16.28	6粒/5位 71.16.28	5点	0点	5点

個人戦	先鋒(10粒)	次鋒(6粒)	中堅(5粒)	副将(4粒)	大将(8粒)	合計得点
灘	吉田一真 5点 10粒	美馬領太 1点 2粒	湯澤魁 5点 5粒	諏訪敬之 4点 3粒	阪上拓 5点 7粒	20点
開成学園	金丸博樹 1点 4粒	前田智紀 2点 2粒	山口望 4点 4粒	岡田友寛 1点 1粒	小林朝瑛 3点 3粒	11点
駿台甲府	内田唯 3点 6粒	米山兼治 4点 3粒	加賀美理沙 3点 4粒	金子未佳 2点 1粒	小沢尊史 4点 2粒	16点
山梨学院	渡辺正樹 4点 9粒	桐山幸大 5点 5粒	前澤祐弥 1点 3粒	平塚一輝 5点 1粒	山縣諒介 1点 0粒	16点
立教新座	中山駿一 2点 5粒	山崎大 3点 3粒	中川隼 2点 3粒	岩田峻弥 3点 3粒	金澤峻 2点 1粒	12点

学校名	団体戦点	個人戦点	ボーナス点	最終得点	順位
灘	15点	20点	0.5点	35.5点	3位
開成学園	30点	11点	2点	43点	1位
駿台甲府	10点	16点	0点	26点	4位
山梨学院	20点	16点	2点	38点	2位
立教新座	5点	12点	0点	17点	5位

団体戦は5kg制限時間30分間で5人一組のルー方式で、どのバケツにいくつの砂金が入っているかわからないが、チーム全体で20粒の砂金が入っている。団体戦では1位が30点、2位20点、3位15点、4位10点、5位5点を獲得し、残り時間1分につき、0.5点のBPを加算したものが取得点数となる。

個人戦は6kg制限時間8分間、1位5点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点を獲得できる。個人戦、団体戦で獲得した総取得点数で順位を決定する。なお、同点だった場合の、判断基準はスピード、採取粒の順とする。

ントを加算した結果、追いつける山梨学院と灘を振り切って堂々の1位となったのは開成学園でした。そして2位に輝いた山梨学院、昨年優勝・灘は僅差で3位、団体戦では同点2位となったものの入賞には及ばなかった駿台甲府、初体験者だけのチームながら健闘した立教新座という結果が出ました。

今年も学生たちによる熱い戦い「夏の砂金掘り甲子園」の表彰式では、優勝した開成学園校歌斉唱のパフォーマンスもあり、大変盛り上がった大会となりました。来年はどこが勝ち上がってくるのか、次回はこの大会を観戦に是非お越しください。

ちなみに、開成と立教の生徒は大会の翌日、中山金山遺跡へ登り、下山後、灰吹き実験を行いました。学生達は大会の疲れも感じさせず、一時間半の登山中、喋りながらそして歌いながら登っていくぐらい元気でした。

博物館夏の風物詩、砂金掘り大会が終わりましたが、実況役を買って出てくださいましたお二人。そして、いつも結果集計の役をしてくださった方、炎天下にも関わらず、砂回収の肉体労働をしてくださった皆さん、タイムキーパー役をしていただいた皆さん。また、博物館友の会の皆さんは、毎年のことながら、砂金掘り大会の中で一番大変な肉体労働、水替え砂出しの作業、そしてスルースボックスによる、砂金回収作業を率先して作業してくださいました。多くの皆さんのお力添えがなければこの大会の運営は非常に難しいのが事実です。ご参加くださった、関わってくださったすべての皆様に感謝いたします。また来年の大会も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

館からのお知らせ①

平成20年度公開講座『湯之奥金山とその周辺～河内地方の原風景を追って②』ご案内

『湯之奥金山とその周辺～河内地方の原風景を追って②』と題し、この10月から来年2月まで毎月1回開催の全5回で公開講座を開催いたします。各回とも午後2時から午後4時まで（質疑応答を含む）、博物館多目的ホールにて開催いたします。各分野の最前線で活躍されている先生方を講師陣にお招きしてこの公開講座。聴講無料で今年も多くの皆様のご聴講をお待ちしております。

平成20年度公開講座『湯之奥金山とその周辺～河内地方の原風景を追って②』ご案内

通算回	期 日	演 題	講 師 名
第56回	10月11日(土)	武田信玄の虚像と実像 ～「甲陽軍鑑」の評価～	NHK大河ドラマ「風林火山」 時代考証者 柴 辻 俊 六
第57回	11月22日(土)	甲斐金山と鉾山技術研究の新展開	帝京大学 山梨文化財研究所所長 萩 原 三 雄
第58回	12月13日(土)	甲斐国・河内領穴山氏の誕生	元山梨県史編さん室長 秋 山 敬
第59回	平成21年 1月31日(土)	甲斐国・河内の職能集団 ～甲府城築造からみた土木技術とその担い手～	山梨県教育委員会 宮 里 学
第60回	2月28日(土)※予定	甲斐国・河内の初期金山を巡る新資料	山梨郷土研究会 数 野 雅 彦

※気象条件や講師の都合により、日程が変更されることもございますので、その都度博物館へお問い合わせのうえ、ご来館ください。また、講師の都合により演題が変更されることもございます。

平成9年から平成17年度までに開催された公開講座は、講演記録集『金山史研究』として、刊行・販売されております。18年度、19年度の『金山史研究』も随時刊行して参ります。なお、書籍取扱店は、博物館、道の駅しもべ、川窪書店（身延・下山）となりますので、ご希望の方はお問い合わせください。

湯之奥金山博物館 第2回日曜コンサート

2009年ニューイヤーコンサート in kinzan

日 時：平成21年1月11日(日) 午後2時開演(～3時迄)

場 所：湯之奥金山博物館多目的ホール ※観賞無料

演 奏：南アルプス桃源交響楽団

新年最初の博物館事業は心地良い管弦楽の調べから始めます。山梨県内で活動している南アルプス桃源交響楽団の奏でるハーモニーをゆっくりとご堪能ください。観賞無料です。演奏曲目など詳細は追って発表いたします。

寄贈資料について

このたび、伊藤源康氏（古閑在住）から、中山金山の磨り白をご寄贈いただきました。伊藤氏は元下部町役場の建設課長の役職に就いていた昭和58年頃、林務関係の現地調査で中山金山へ登山した際に、現在の登山道より少しはずれた場所で発見したということでした。「昔話の中でしか金山が語られていなかった当時、珍しいモノという感覚で持ち帰り、自宅に保管していたが、金山博物館で多くの皆さんに見て頂き、

ご寄贈くださった皆様の温かいお心に御礼申し上げます。

研究に役立てていただければ」というご意向でこのたびご寄贈くださいました。

また、原澤英美氏（友の会親善大使）からは、早川町保金山の金鉾石をご寄贈いただきました。早川の有名な金山の一つですが、なかなか関係資料が少ないので貴重です。寄贈していただいた鉾石は小ぶりながらも金が肉眼ではっきり見ることが出来ます。これらの資料は、常設展示室で公開させていただきます。

館からお知らせ②

秋の遺跡見学会のお知らせ

湯之奥金山博物館「遺跡見学会」は、武田領内で操業された県内外の湯之奥金山と同時代に操業していたと伝えられる金山遺跡見学会をこれまで16回にわたって開催しております。

現在、山梨県は富士山世界遺産登録に向けて動いています。本町もこの運動に賛同し運動推進に努めています。湯之奥金山遺跡も、富士山を取り巻くバッファゾーンに位置する国指定史跡という文化遺産の一つとして、その枠組みの中に入るといふ方向で活動しています。

この時期に、世界遺産に登録された石見銀山との対比研究を行うことは極めて重要です。このような考えを基本にして、今年度の事業として「湯之奥中山金山遺跡」と「石見銀山遺跡」見学会を開催いたします。

国指定史跡 湯之奥・中山金山遺跡見学会 【登山難易度・中上級者コース】

期 日：平成20年9月20日(土) ※小雨決行・雨天の場合、翌日9月21日(日)に順延

講 師：島根県松江工業高等専門学校工学博士：久間英樹先生

定 員：15人（申込期間：平成20年9月18日(木)まで または定員になり次第）

参加費：無料

協 力：昭和山岳会

◆坑道調査の新技術◆

10月見学会の見学地でもある石見銀山の坑道をロボットで調査し、その成果を挙げられた第一人者・久間英樹先生を現地講師にお迎えし、実際に坑道調査ロボットを、中山金山現地に運び上げ、坑道探査の新技術などを紹介していただくなど、講義を踏まえながらの見学会となります。

日 程

9月20日(土)

7:30	湯之奥金山博物館集合・受付
7:40	博物館駐車場から現地へ出発
8:10	毛無山登山道着 (博物館から登山道まで車で約30分)
8:20	講師紹介、登山開始
8:20～9:50	途中休憩を挟みながら現地到着 (片道約1時間30分)
10:00～	中山金山遺跡見学
12:00～12:30	昼食・休憩を挟みながら現地見学
12:30～14:00	引き続き現地見学
14:00	下山開始
15:20	登山道入り口着
16:00	博物館到着・解散

9月19日(金)

なお、前日の19日(金)午後1時から、金山博物館において事前学習会があります。こちらも参加無料です。参加ご希望の方は当館までお申込ください。

(事前学習会、現地登山のどちらからのみのご参加も可能です。)

13:00	金山博物館集合
13:15～14:00	甲斐金山湯之奥中山金山について 講師：谷口一夫(金山博物館館長)
14:00	博物館見学
15:30	砂金採り体験
16:00	自然金採取体験(下部川)
17:00	解散

世界遺産・島根県「石見銀山」遺跡見学会

「石見銀山」ってどんなところ？

日本を代表する鉱山遺跡として1969年（昭和44年）に国指定の史跡に登録され、その後、2007年（平成19年）に、ユネスコの世界遺産への登録が決定となり、同年、日本の地質百選に選定されました。

石見銀山は、戦国時代後期から江戸時代前期にかけて日本最大の銀山であり、開始時期は異なりますが、佐渡・土肥金山など江戸時代の主要有名金山と同時代に操業した銀山でもあります。同銀山は、日本全国の鉱山の産出量を飛躍的に増大させたこと、甲斐全体の金山の繁栄をも導いたと言われる金山奉行・大久保長安が手がけたということもあり、甲斐金山との深いつながりがある遺跡の一つです。

観光センターはオープン直前。センターを展示監修された、あの井澤英二先生ご本人のご案内で見学できるというのも今見学会の目玉でもあります。観光旅行ではなく遺跡見学会なので他の観光名所などの立ち寄りはありませんが、友の会会員の勉強会ということで、実費のみのご負担での見学会となります。移動等は専門のバス会社をお願いしています。

期 日：平成20年10月16日(木)～18日(土) 2泊3日

定 員：30人（申込期間：平成20年10月7日(火)まで または定員になり次第）

参加費：39,000円【参加料内訳：大久保間歩入坑料、石見銀山ガイド料・バス代・保険・食事代、宿泊料等の実費です。】

■募集対象 博物館友の会会員

※現在、会員でない会員でない方は、友の会年会費1,000円を加算した40,000円でご参加いただけます

現地講師：井澤英二先生（九州大学名誉教授）

久間英樹先生（松江工業高等専門学校工学博士）

★見学会ポイント★

行程2日目は、期間限定公開の大久保間歩の見学をはじめ、1日まるまる石見銀山を体感していただきます。観光旅行ではなく、遺跡見学会ですので他の観光名所などの立ち寄りはありませんが、現地講師には、九州大学名誉教授井澤英二先生と松江高専工学博士久間英樹先生、石見銀山資料館では仲野義文館長の案内をいただきます。

見学会日程：(大型観光バスで博物館→石見まで直行 片道約10時間)

1日目（10月16日）

下部→増穂I.C→中央道→名神→中国道→山陰道→斐川I.C→大田市内（泊）

2日目（10月17日）

石見銀山遺跡見学（大久保間歩、石見銀山世界遺産観光センター、石見銀山資料館、町並・港湾他）→
【玉造温泉】（泊）

3日目（10月18日）

（泊）→出雲大社→斐川I.C→山陰道→中国道→名神→中央道→増穂I.C

（休憩・昼食を挟みながら下部へ。午後9時着予定）

見学会に関するお問い合わせは博物館（渡辺正悟）までお願いいたします。

館からお知らせ③

親子映画観賞会

◎平成20年11月1日(土) 午後6時

◎平成20年12月6日(土) 午後6時～

名作や話題の作品を多くの皆様楽しんでいただいている親子映画観賞会。次回の映画会の日程は次のとおりです。上映作品は、館内小中学校に配布するチラシ、そして博物館ホームページなどで周知しております。親子でなくとも、どなたでもご覧になれますので、お気軽にお出かけください。

その他、博物館の開館時間について

◎10月からの開館時間：午前9時～午後5時まで（受付は閉館30分前まで。休館日・毎週水曜日）
なお、10月からは翌年4月まで冬時間となり、開館時間は上記のようになります。

また12月28日～翌1月1日までの5日間は年末年始休館とさせていただきます、新年は1月2日より通常開館しております。

◎11月20日(木)「県民の日」は常設展示室を無料でご覧いただけます。砂金採り体験は1割引で体験いただけます。年に一度の特別デー。ご家族、お友達、ご親戚の皆様をお誘いあわせのうえ、この機会に是非ご来館ください。

博物館日誌 (平成20年6月～8月)

8月										7月							6月																			
29	26	25	21	20	19	8	6	4	3	2	1	31	30	29	27	26	24	23	22	21	18	17	16	15	13	11	10	9	8	7	6	5	1	30	28	24
(日)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)		
夏休み親子映画観賞会「河童のクワと夏休み」 「クレヨンしんちゃん」 中山金山遺跡現地查察 インタビュー第1日目(山梨学院大・渡辺祐樹君、山梨県立大学・高井あゆみさん、千塚小遠足下見 インタビュー第2日目、下部温泉ウォキンググループ 完成 早川上流文化圏研究所打合せ、公開講座ポスター 商工会事業打合せ・現場実見										中富中町内めぐり、NHK甲府取材打合せ NHK撮影下見・中山金山遺跡、観光連盟会議(於多目的ホール) 東京国立科学博物館「GOLD展」オープニングレセプション出席、FM富士「富士の国やまなし」PR出演 NHK甲府撮影 ことなき勸学院、峡南高校インタビュー打合せ オーストラリアヒクトリア博物館コレクションマネージャー、パラット黄金博物館館長、国立科学博物館関係者来館 ミュージアム甲斐ネットワーク会議、身延町観光連盟会議 NHK甲府取材撮影・中山金山遺跡、丹波山村関係者イベント打合せ来館 海の日・夏休み自由研究プロジェクト(於アイメッセ山梨) 峡南高校・情報ビジネス科DVD作成 茅小屋金山遺跡現地查察 湯田小下見、映画会チラシ配布 第8回こども金山探検隊第1日目、学芸員研修(身延山大学・山形夏子さん) 第8回こども金山探検隊第2日目 下部温泉魅力づくり協議会 休館日・峡南高校インタビュー初日(8月3日まで) 考古博物館学芸員研修来館 北海道・浜頓別町役場より来町、8月中無休開館 第8回砂金掘り大会・第5回東西中高交流砂金掘り大会 開成中高・立教新座中高、中山金山遺跡登山・灰吹き実験・やまめ祭り、峡南高校インタビュー最終日イベント打合せ							身延町ALIT町内施設巡り 有料入館者21万人達成「こどもちゃん家の5時」生放送OASCT取材撮影 夏休み親子映画観賞会「河童のクワと夏休み」 「クレヨンしんちゃん」 中山金山遺跡現地查察 インタビュー第1日目(山梨学院大・渡辺祐樹君、山梨県立大学・高井あゆみさん、千塚小遠足下見 インタビュー第2日目、下部温泉ウォキンググループ 完成 早川上流文化圏研究所打合せ、公開講座ポスター 商工会事業打合せ・現場実見																			

編集後記

9月に入り夏休み気分もすっかり抜けたところでしょうか。残暑もそこそこに朝夕は涼しさが感じられる季節となりました。

今年も、猛暑の中を大勢の来館者にお越しいただき、博物館の「暑い夏の2大イベント」も盛大に、且つ、無事に終了し本誌でご報告でき

ますことは、ご参加いただいた皆様をはじめ、多方面にわたり大勢の皆様方にご協力をいただいたおかげだと感謝する次第です。

この後も、秋から冬にかけて「遺跡見学会」や「公開講座」等の事業を開催する中で、多くの皆様と笑顔で集える博物館活動を継続しながら、一つずつ着実に事業を展開していけるよう努力して参ります。どうか、紅葉の美しい景色を楽しみながら博物館に足を運んでください。

博物館だより 第46号 平成20年9月11日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 電話 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html 博物館Eメールアドレス yunoking@town.minobu.lg.jp